

平成 29 年度 養介護施設従事者等による高齢者虐待に係る相談・対応状況

○養介護施設従事者等による高齢者虐待に係る相談・対応等件数

平成 29 年度の名古屋市としての虐待判断件数は 13 件となり、平成 28 年度の 15 件からほぼ横ばいとなりました。

区 分	H28 年度	H29 年度
相談・通報総件数	35	40
虐待判断事例総件数（虐待を受けた又は受け たと思われたと判断した事例件数）	15	13

○相談・通報者の別

「従業者」が 35.6%と最も多く、次いで「施設・事業所の管理者」が 22.2%でした。

区 分	28 年度	29 年度
家族・親族	1 (2.9%)	5 (11.1%)
本人(被虐待者)	0 (0%)	0 (0%)
従事者	12 (34.3%)	16 (35.6%)
元従事者	5 (14.3%)	3 (6.7%)
施設・事業所の管理者	8 (22.9%)	10 (22.2%)
法人役員	1 (2.9%)	5 (11.1%)
警察	0 (0%)	1 (2.2%)
医療機関従事者	2 (5.7%)	2 (4.4%)
その他	6 (17.1%)	3 (6.7%)
不明	0 (0%)	0 (0%)
計	35	45

○虐待の種別としては、「身体的虐待」が 8 件と最も多く、次いで「心理的虐待」が 5 件、「介護等放棄」が 3 件、「性的虐待」が 1 件の順でした。

区 分	28 年度	29 年度
身体的虐待	10 (55.6%)	8 (47.1%)
心理的虐待	5 (27.8%)	5 (29.4%)
介護等放棄（ネグレクト）	3 (16.7%)	3 (17.6%)
性的虐待	0 (0%)	1 (5.9%)
経済的虐待	0 (0%)	0 (0%)
計	18	17

※同一事業所で複数の虐待認定がある場合、それぞれの該当項目に重複して計上されるため、合計件数は虐待判断件数の 13 件と一致しません。